

山口県警等と連携して山口県宇部市で交通安全啓発活動

～交通事故多発している「大沢西交差点」付近のスポーツイベントに併せて実施～

日本損害保険協会中国支部山口損保会(会長：上野 里美・東京海上日動社 理事・山口支店長))は、12月14日(土)13時から、交通事故が多発している山口県宇部市の「大沢西交差点」付近にある俵田翁記念体育館で開催されたスポーツイベントに併せて、山口県宇部警察署および山口県環境生活部県民生活課と連携して、啓発活動を実施しました。

当日は、スポーツイベントの来場者に対して、反射材の有効性を記したパネルを展示するとともに、反射材付きチラシを渡して、反射材着用を呼びかけました。スポーツイベントには、パトカー、白バイや消防車等も駐車されていたため、お孫さんと一緒に来訪した高齢者や自転車で来場した高校生など多くの来場者がいました。受け取った反射材付きチラシを眺めて、早速その場で反射材を着用する来場者もいました。

当支部では、引き続き、山口県警をはじめ関係先との連携を強化して、交通事故防止に関する活動に取り組んでいきます。



啓発活動の様子-1-



啓発活動の様子-2-



反射材の有効性を記したパネル



会場の様子